

## 海洋高生ら飛鳥Ⅱ見学 秋田港

男鹿海洋高校2年生と教職員計32人が9日、秋田市の秋田港に停泊中のクルーズ船「飛鳥Ⅱ」を見学した。生徒らは担当者から船の施設や設備について説明を受け、船上の仕事に理解を深めた。

男鹿海洋高校2年生と教職員計32人が9日、秋田市の秋田港に停泊中のクルーズ船「飛鳥Ⅱ」を見学した。生徒らは担当者から船の施設や設備について説明を受け、船上の仕事に理解を深めた。

海運大手の日本郵船（東京）と日本海洋事業（神奈川県）が洋上風力発電の作業員ら向けとして、同校に今年開設した。

## 船上の仕事に興味津々!!



担当者（左）から説明を受ける生徒たち



市民向けの見学会も実施した

生徒が航海士や機関士、調理担当者などに質問をする時間も設けられ、仕事の内容や、

（神谷紗耶加）

生徒らは担当者の案内で、デッキや客室、ラウンジ、ジム、スパなどを見学。担当者は設備のほか、働き方や採用条件などについても説明した。

途途中で秋田港に停泊していた。

飛鳥Ⅱは日本郵船のクルーズ会社である郵船クルーズ（横浜）が運航しており、横浜港発着のクルージングの途中で秋田港に停泊していた。

やりがいなどを聞いていた。海洋科の齊藤尊哉さん（16）は「操縦室からの景色がとてもきれいだった。これまで見たことがないバーなどもあって興味を引かれた」と語った。

この日は、市民51人も船内を見学した。船内のプールは海水をくみ上げていると説明を受けると、「場所によって水温も違うのかな」といった声が上がった。夫婦で訪れた秋田市士崎港の佐藤小夜子さん（72）は「飲み物や食べ物食べ放題で、プールもあって運動もでき、夢の場所だ」と思った。一度は乗ってみたい」と話した。

©秋田魁新報社